

平成29年7月25(火)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（東部管内の5箇所）における環境配慮について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。

検討会の様子



十八成浜海岸（石巻市）



南北上運河（東松島市）



大曲浜海岸（東松島市）



州崎海岸（東松島市）

アドバイザーからの主な意見

- 十八成浜海岸
底生動物等が遡上するため、水門ゲートは開いているほうが良い。
保全対策の効果を確認するため、アマモの調査を行うことを提案する。
- 南北上運河
ヨシ原のような環境を出来る限り残すことで底生動物等が戻ってくると思われる。
底生動物等を移植した箇所については、生息環境を整えるため、小さい碎石を撒くと良い。
- 大曲浜海岸
移植したハマナスは元の生育環境に再移植しても生育するとは限らないので再移植する必要はない。
- 州崎海岸
不老山付近に生息するハマナスは定期的な手入れもしくは前浜への移植が必要になる。



ハマナス（維管束植物）
バラ科バラ属の落葉低木、夏に赤い花を咲かせる。園芸植物として採取が危惧がある。また東日本大震災の津波に遭遇し絶滅した所も多々ある。

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。